

あきる野の自然を多くの子どもたちに…

私たち森林レンジャーは、地域の方と関わりながら、地域やその生活を知り、自然を知り、人と共生してきたあきる野の自然を守り、次世代へつなげる活動を続けてきました。今年度からは、森へ調査に出かける時間より子どもたちに自然の素晴らしさを伝える仕事が増えています。

これまで私たちが、森を歩いて見えてきたあきる野の素晴らしい自然を、市内外の小学生の体験学習、交流事業、出前授業など様々な形で紹介してきました。

それは、一人でも多くの子どもたちに、自然を好きになってもらいたい、地域と自然が共に暮らしてきたあきる野の素晴らしさを知ってもらいたいからです。

子どもたちは、自然の中で思いっきり遊び、新たな発見をして笑顔になります。あきる野の自然を愛する、私たち森林レンジャーの情熱や笑顔も、きっと子どもたちの心に深く残るでしょう。

子どもたちの対応をする機会が増えましたが、私たちはこれまでと同じく、自分たちの目で、足で、あきる野の森を見て歩き、調査を続けています。自然は常に同じではなく、日々変化しています。あきる野の自然の素晴らしさを守り、多くの人に伝え、次世代の芽が育つきっかけとなる為にも、私たちは変化する自然と向き合っていくことが重要だと考えています。

体験の後に、子どもたちからお礼の手紙をもらうことがあります。「自然が好きになった」「自分が、自然に何か悪いことをしたらいつか自分に返ってくるということがわかった」「あきる野の森には、たくさんの生き物が住んでいることがわかった」「小宮には、自然が自由に自然に生きている」「将来、森林レンジャーになりたい」……。私たちの活動が、あきる野の自然や多くの子どもたちの未来へつなぐと信じて、今後も活動を続けていきます。



市外小学生の体験学習



市内小学校へのお出前授業



港区とあきる野市の交流事業



市内小学生の体験学習

コレンジャー10月 間伐はなぜ必要なの？

コレンジャー10月の活動は間伐でした。午前中は、なぜ間伐が必要なのか？を感じるために、森あそび（人）、けもの道歩き（哺乳類）、草花観察（植物）、鳥の観察（鳥類）の4つに分かれてそれぞれの目線から感じる森を体験しました。木や森のためだけではなく、そこに住んでいる動植物や、私たち人間にとっても間伐が必要という声が上がりました。

さあ！午後は間伐です。木の伐り方を森林レンジャー

に教わりながら、自分たちの手で伐っていきました。木を伐るだけではなく、伐った木を利用することも必要だと知りました。枝はらいや玉切り、皮むきを行い、木を担ぎ出しました。その後は、冬のおしるこ作り？の為に薪割りをし、コレンジャー専用の薪棚に綺麗にならべました。冬が楽しみです♪

11月は、馬頭刈山まで登山の予定です。



木のぼりできるよー



木を伐る時は真剣です



年輪を数える



皮むき



皮むき



枝はらいも重要です



木を担ぐ！



薪割り



あきる野の奥山

命のキセキ

あきる野の奥山に存在する森は、みなさんが想像するより深く、重要な自然を守っている森林地帯です。私はあきる野の里山を愛すると同時に、市内に広く残されている奥山も愛しています。両方の環境が楽しめることはあきる野の自然の大きな特徴の一つであると思います。

今回は、奥山で確認した生き物についてお知らせします。それは、現在調査中のクマタカの繁殖に関することです。市内では最も大型で、重要な猛禽類であり、東京都のレッドリストでは絶滅危惧種IA類(CR)、環境省のランクでも絶滅危惧種IB類(EN)に選定されています。個体数や繁殖成功率の低下などにより、絶滅の危険性が高いと言われていています。

そのクマタカが今シーズン繁殖に成功し、現在は親子で活動しています。幼鳥の顔はまだ白く、親に飛び方や狩りの方法を教わって練習する時期に入っています。行動圏はまだ数百メートル程度に過ぎず、飛んでいるツバメの仲間などを捕まえようとして、何度も、何度も失敗を繰り返しています。まだ、自分で上手く狩りができず、特にオスから餌(鳥類や小型哺乳類など)をもらうことが多いようです。来年の春先まで、寒い冬を越しながら色々学んで立派に独立できる様に頑張らないといけません。このクマタカの幼鳥の運命が気になって、ずっと近くで観察をしたいのですが、あまり影響を与えない様に十分に距離を置いて、今後もモニタリングを継続したいと思います。

クマタカは巣立ち後も巣外での養育期間が長いため、2年に一回だけ繁殖を行います。このつがいは来年は繁殖をしないことになり、幼鳥が親離れすると、メスはオスの行動エリアを離れて、元の棲み処に戻ると考えられます。オスには、これからも今までと同じ様によく会えるでしょう。。。クマタカ的一家、頑張ってください！



写真

(左上) 営巣区域からしばらく離れて、狩りに出かけるメスの飛行姿。

(右上) 飛び方を教えているオスの様子。

(下) 練習途中で休憩する幼鳥。

[パプロ]

